

製品名: Bag3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21422**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:62kD;Observed MW:80kD

抗原情報

遺伝子名	BAG3
別名	BAG3;BIS;BAG family molecular chaperone regulator 3;BAG-3;Bcl-2-associated athanogene 3;Bcl-2-binding protein Bis;Docking protein CAIR-1
遺伝子 ID	9531.0
SwissProt ID	O95817
免疫原	ヒト Bag3 の組み換えタンパク質

背景

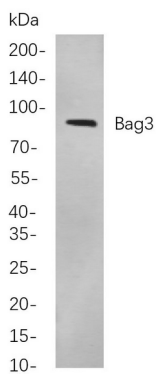
細胞局在: 細胞質、核。BAG タンパク質は Hip と Hsc70/Hsp70 ATPase ドメインへの結合を競合し、基質遊離を促進する。全ての

BAG タンパク質は C 末端付近に約 45 アミノ酸からなる BAG ドメインを有するが、N 末端領域は大きく異なる。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、N 末端領域に WW ドメイン、C 末端領域に BAG ドメインを有する。BAG1、BAG2、および BAG3 の BAG ドメインは、in vitro および哺乳類細胞において Hsc70 ATPase ドメインと特異的に相互作用する。これら 3 つのタンパク質はすべて Hsc70 の ATPase ドメインに高親和性で結合し、Hip による抑制下でシャペロン活性を阻害する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Bag3 ウサギ mAb を用いた HEK293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。